



MINI DISCLOSURE 2016

平成28年9月期 事業の中間ご報告
(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

ごあいさつ



取締役社長
寺門 一義

取締役副社長
松下 正直

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび株式会社 常陽銀行と株式会社 足利ホールディングスは、平成28年10月1日に株式交換方式により経営統合し、常陽銀行・足利銀行を子会社とする金融持株会社「株式会社 めぶきフィナンシャルグループ」が発足いたしました。新金融グループの発足に際しましては、皆さまのひとかたならぬご理解とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

新たな金融グループは、経営理念に「質の高い総合金融サービスの提供を通じ、地域とともに、ゆたかな未来を創り続けます。」を掲げ、これまで両行が培ってまいりましたお客さま、地域とのリレーションを維持・深化させ、広域ネットワークを活用し、「地域産業の掘り起こし、地域経済の活性化や新たな市場創造」に取り組んでまいります。

地域振興・地方創生のけん引役として、グループの創意を結集し、質の高い総合金融サービスの提供により地域の持続的成長に貢献する金融グループとして邁進する所存でございますので、今後とも一層のご厚誼ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月吉日

株式会社めぶきフィナンシャルグループ

取締役社長 寺門 一義

取締役副社長 松下 正直

社名とロゴに込めた思い

社名

株式会社めぶきフィナンシャルグループ

【英文名称】 Mebuki Financial Group, Inc.

社名に込めた思い

「めぶき（芽吹き）」は“樹木の新芽が開始すること”を意味し、グループ各社の知見と創意を結集させることにより、瑞々しい発想や新しい価値が次々と生み出される様を「めぶき」という言葉で表現し、グループ名称に用いています。社名には、地域に新たな価値と活力を芽吹かせ、地域とともに持続的成長を実現していく思いを込めています。

ロゴマーク



【ブランドロゴデザインのコンセプト】

瑞々しさあふれる3つの葉が特徴的なブランドロゴのデザインは、植物が芽吹き、力強く成長していく姿を表現しています。地域にしっかりと根ざしながら新たな価値を生み出し、ともに豊かな未来を創り続ける“めぶきフィナンシャルグループ”を象徴するものです。

【ブランドロゴカラー】

英知と信頼を表す個性的な“Assuring Blue(文字の部分)”を基調とし、成長と未来を表す若々しい“Growing Green(葉の部分)”を組み合わせています。

めぶきフィナンシャルグループについて

グループ経営理念

質の高い総合金融サービスの提供を通じ、
地域とともに、ゆたかな未来を創り続けます。

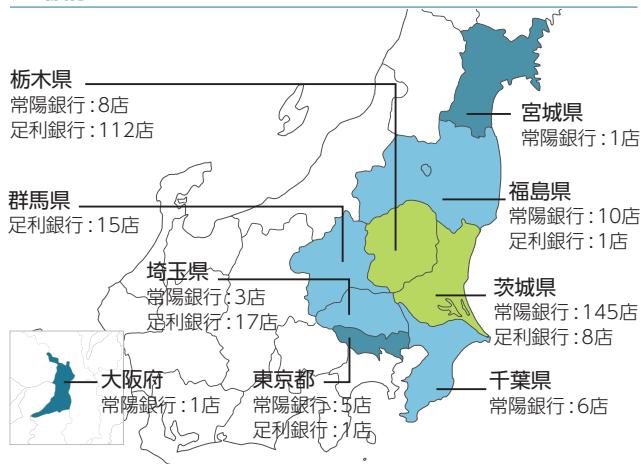
グループの創意を結集し、地域の持続的成長に貢献します。

質の高い総合金融サービスの提供により、地域社会の課題解決を図り、地域とともにゆたかな未来を創造します。

株式会社 めぶきフィナンシャルグループ (平成28年10月1日現在)

本店所在地	東京都中央区八重洲二丁目7番2号
本社所在地	[水戸本社] 茨城県水戸市南町二丁目5番5号 [宇都宮本社] 栃木県宇都宮市桜四丁目1番25号
資本金	1,174億円
設立日	平成20年4月1日 (平成28年10月1日商号変更)
上場証券取引所	東京証券取引所
従業員数	123名
格付	A (格付投資情報センター)

店舗網 国内:333店 海外:4か所 (平成28年9月30日現在)



株式会社 常陽銀行 (平成28年9月30日現在)

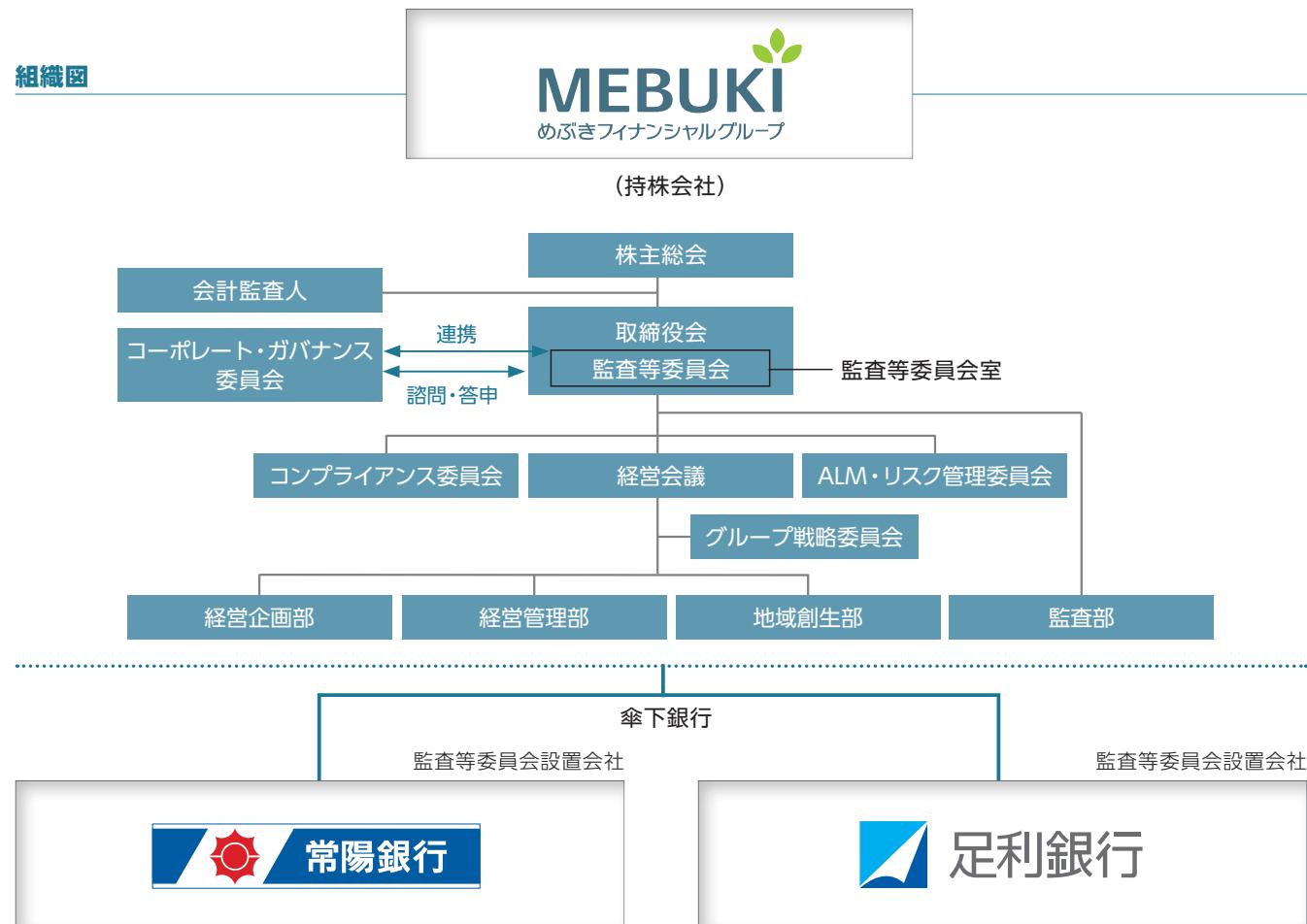
創立	1935年 (昭和10年) 7月30日
本店	茨城県水戸市南町二丁目5番5号
資本金	851億円
店舗数	国内: 179店舗 (本支店150、出張所29) 海外: 3駐在員事務所 (上海、シンガポール、ニューヨーク)
従業員数*	3,753名
格付	A+ (格付投資情報センター) A2 (ムーディーズ)

株式会社 足利銀行 (平成28年9月30日現在)

創立	1895年 (明治28年) 10月1日
本店	栃木県宇都宮市桜四丁目1番25号
資本金	1,350億円
店舗数	国内: 154店舗 (本支店105、出張所49) 海外: 1駐在員事務所 (香港)
従業員数*	2,957名
格付	A+ (格付投資情報センター)

* 従業員数には外部への出向者等も含まれます。

組織図



役員

[取締役 (監査等委員である取締役を除く)]	取締役社長	寺門 一義	[監査等委員である取締役]	取締役	寺門 好明
	取締役副社長	松下 正直		取締役	小野 訓啓
	取締役	村島 英嗣		取締役(社外)	菊池 龍三郎
	取締役	加藤 潔		取締役(社外)	永沢 徹
	取締役	笹島 律夫		取締役(社外)	清水 孝
	取締役	清水 和幸			
	取締役	西野 英文			

めぶきフィナンシャルグループについて

新グループの目指す姿(戦略目標)

地域の未来を創造する総合金融サービスグループ

新グループは、両行が培ってきたお客さま、地域とのリレーション、地域への深い理解を維持・深化しつつ、広域ネットワークを活用した経済交流圏域の広がり追求、総合金融サービスの規模・範囲の拡大を図り、「地域産業の掘り起し、地域経済の活性化や新たな市場創造」に取り組み、地域とともに成長を目指します。

グループ理念の構造 (=新グループの活動のもととなる基本的な考え方)

ミッション	地域と共に 発展・成長し、地域に貢献する			
ビジョン	「開かれた」金融グループとして、事業エリア・領域・規模の拡大を進めていく			
成長 ドライバー	ネットワークの活用による 地域経済の拡大 中央の大企業を含む広域の ネットワークを活用した商流・ 情報流・企業間交流の加速と 拡張	先進的サービスの 開発・提供 ITの活用、他業態と の連携等による先 進的な金融サービ スの開発・提供	統合による 収益基盤の強化 オペレーションの効 率化と経営資源の戦 略的シフトによる強 固な収益基盤の構築	プロフェッショナル 人材の育成 多様で高度な金融エー ズに対応でき、且つ、地 域の事情に精通したプロ フェッショナルを育成
バリュー	リース・証券・シンクタンク・ITサービスを含んだワンストップ総合金融サービス			
事業基盤	地域との強固な信頼関係・地域シェアトップの地域金融機関			

目指す姿の実現に向けた計画

第1次中期経営計画

平成28年度下 ~ 平成30年度

新グループを軌道に乗せ成功へと導く期間

連結当期純利益	平成30年度 470 億円程度
連結ROE	5% 以上
連結自己資本比率	10% 台半ば

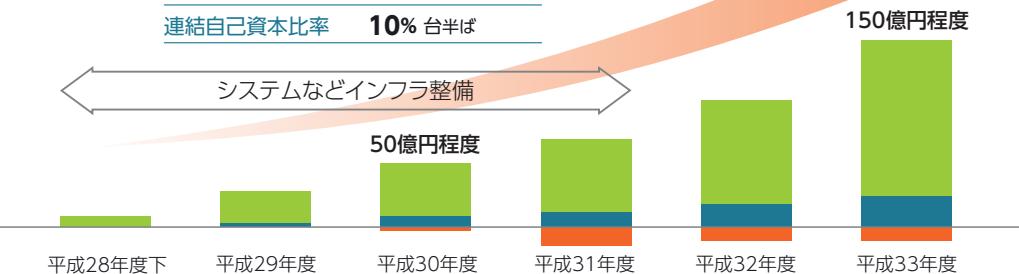
第2次中期経営計画

平成31年度 ~ 平成33年度

本格的な成果の実現・次なる成長への転換期間

(参考)平成33年度

連結当期純利益	640 億円程度
連結ROE	6% 以上
連結自己資本比率	10.5% 以上



【目指す姿】

地域の未来を
創造する
総合金融サービス
グループ

- トップラインシナジー*
- 経費削減シナジー
- 逆シナジー

[システム移行費用(うち初期費用は平成36年度償却終了)]

* トップラインシナジー: トップライン増加に伴い増加する費用は控除しています。

統合記念施策

めぶきフィナンシャルグループ発足記者会見および除幕式開催

平成28年10月1日、めぶきフィナンシャルグループが発足しました。両行の本店がある水戸市と宇都宮市で記者会見および新看板の除幕式を行いました。



除幕式

発足を記念した投資信託新商品の取り扱い開始

平成28年10月3日、当社発足を記念した投資信託の新商品「先進国債券・茨城栃木関連株式バランスファンド <愛称 ふたつの夢>」の取り扱いを開始しました。また、茨城県および栃木県の4会場で開催した資産運用セミナーでは、本商品のご紹介をし、大勢のお客さまにご参加いただきました。



両行による地域産品応援プロジェクト実施

当社発足後、初の2行連携イベントとして、食関連事業者の商品開発から販路拡大までを支援する「おいしさ向上品評会in水戸」と「おいしさつながるフードフェスタin宇都宮」を開催しました。

「おいしさ向上品評会in水戸」では、約100社の食品事業者が自社商品を展示し、外国人留学生や日本人学生、ビジネスマン、主婦等に試食・インタビュー形式で商品評価をしていただきました。評価結果を出品社へ還元し、商品開発やテストマーケティングに活用いただけるようにしました。

また、「おいしさつながるフードフェスタin宇都宮」では、330社を超える食関連事業者が出展し、多数のバイヤーとの商談が活発に行われ、地元食関連事業者の販路拡大に向けた支援を行いました。

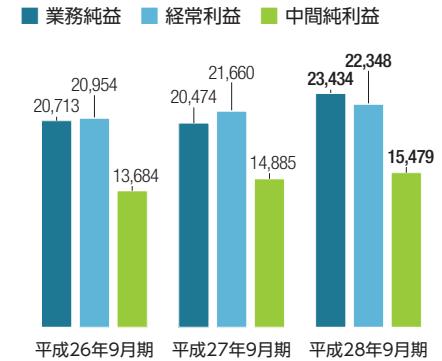


おいしさ向上品評会 in 水戸

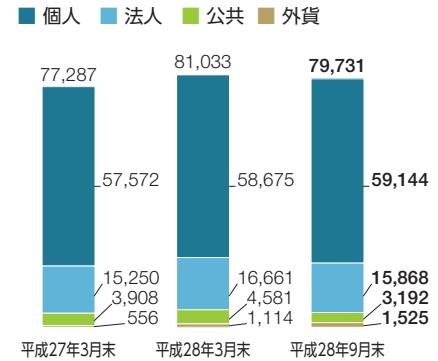
業績ハイライト (平成28年9月期 単体)



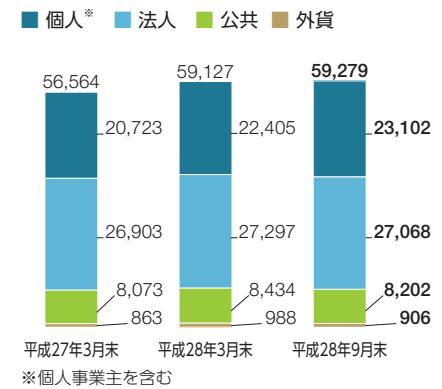
収益の状況 (単位：百万円)



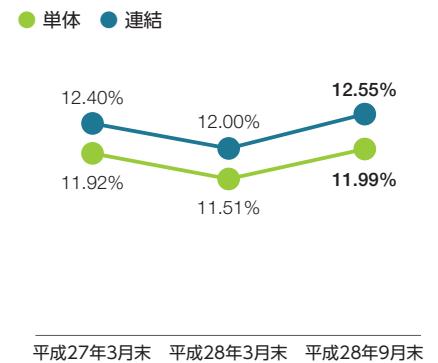
預金の状況 (単位：億円)



貸出金の状況 (単位：億円)

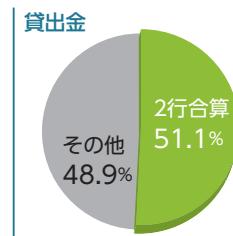
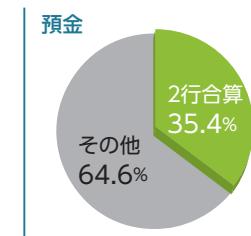


自己資本比率の状況 (単位：%)



〈茨城県内の常陽銀行と足利銀行の合算シェア〉

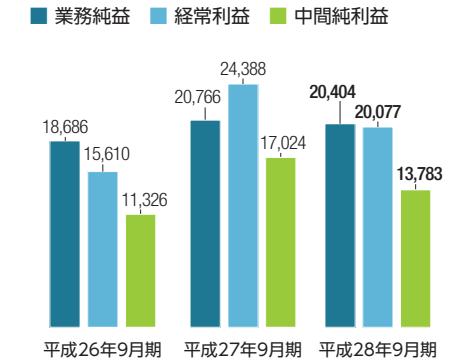
預金・貸出金ともに、茨城県内で高いシェアを確保しています。



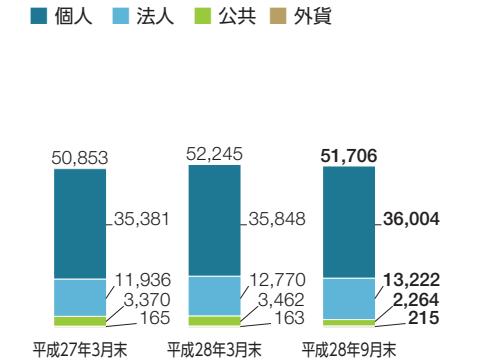
(金融ジャーナル2015.12増刊号より作成)



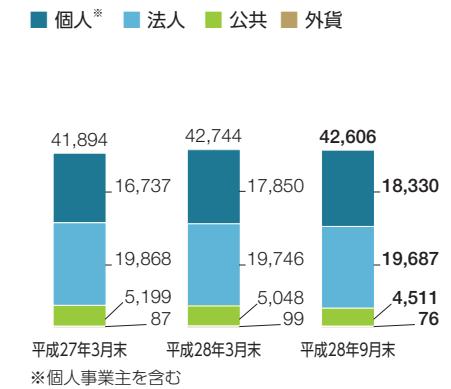
収益の状況 (単位：百万円)



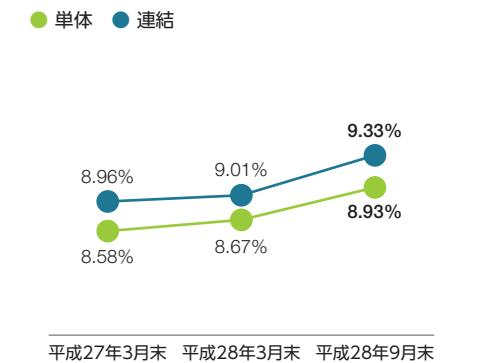
預金の状況 (単位：億円)



貸出金の状況 (単位：億円)

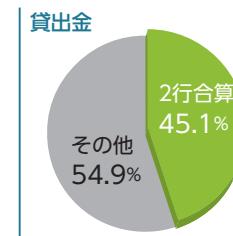
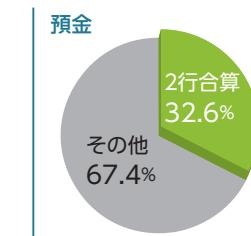


自己資本比率の状況 (単位：%)



〈栃木県内の常陽銀行と足利銀行の合算シェア〉

預金・貸出金ともに、栃木県内で高いシェアを確保しています。



(金融ジャーナル2015.12増刊号より作成)

CSRへの取り組み

めぶきフィナンシャルグループは、CSRへの取り組みが「持続可能な地域社会の実現」に貢献するものであり、さらにはめぶきフィナンシャルグループ自体の持続・永続的な発展につながるものと考え、CSRを行動の基軸に位置づけ、グループ役職員が一体となり当事者意識を持って取り組んでまいります。

3つの重点課題

環境

経済

社会

● 森林保全活動への取り組み



ふるさとの美しく健全な森を次世代に引き継ぐため、全国の地方銀行が設立した「日本の森を守る地方銀行有志の会」に参加しています。那珂市および筑波山の「常陽ふるさとの森」において、間伐や植樹活動などを実施し、ふるさとの緑を守り育てる森づくりに取り組んでいます。



● 女性の活躍を支援する取り組み

女性が働きやすい環境整備および女性の活躍支援に向け、女性活躍推進法にもとづく一般事業主行動計画を策定し、さまざまな施策を実施しています。

具体的には、男性社員の育児休暇取得率80%以上や女性の平均勤続年数の向上、女性管理職の割合の増加等を目標とし、子育て支援手当の新設、保育手当の新設、キャリア形成支援研修の拡充等の施策を展開しています。こうした取り組みが評価され、女性活躍推進で一定基準を満たした「えるぼし企業」に、北関東3県(茨城、栃木、群馬)で初めて認定されました。



● 未来の夢応援債



平成28年7月、寄贈サービス付私募債「未来の夢応援債」の第1号案件として、水戸ヤクルト販売株式会社様が発行する私募債の手数料の一部を活用し、茨城県立水戸特別支援学校に対し図書を送りました。本私募債は、企業が銀行保証付私募債を発行する際、当行が受け取る手数料の一部で図書やスポーツ用品等を購入し、企業が指定する学校等に寄贈するサービスが付いたものです。今後とも、将来にわたる地域貢献活動に積極的に取り組んでいきます。

● 「足尾の山」植樹活動



平成28年7月、NPO法人「足尾に緑を育てる会」の協力のもと、新入行員と栃木県産業協議会会員企業の新入社員総勢192名で、足尾の山にヤマボウシやハナミズキなど400本の苗木の植樹を行いました。

煙害で荒廃した足尾の山への緑化活動を通じて、渡良瀬川流域に土壌汚染を招いた歴史から水循環系の仕組みを学ぶとともに、自然環境の健全化と環境保全への取り組みなど、若い世代に向けた環境教育の機会を実施しています。



● 地元名産品ブランド「雷都物語」の本店営業部ロビー展示PR

平成28年7月、本店営業部のロビーにおいて、宇都宮商工会議所が地元食品メーカーと共に開発したブランド「雷都物語」の商品を展示しました。また、抽選で「雷都物語」のお試しセットが当たる応募ハガキと投函ボックスを設置し、地域の皆さまに地元商品を広く知っていただけるよう取り組みました。地元企業の販路拡大を支援するとともに関係団体と連携した地域経済の活性化に努めています。



● [2016 FIBA 3X3 World Tour Utsunomiya Masters] イベントスポンサー



平成28年7月、宇都宮市で開催された3人制バスケットボールの国際大会「2016 FIBA 3X3 World Tour Utsunomiya Masters」のイベントスポンサーになりました。同大会の開催を通じ、国内だけでなく世界に向けた「Utsunomiya」ブランドの発信・強化と認知度の向上への貢献とともに、次世代を担う子どもたちに対するスポーツ振興、国際交流の機会を提供していきます。

環境

地域に密着した総合金融グループとして、健やかで美しい環境を未来に伝える取り組み

社会

安全・安心なまちづくりや次世代教育に資する取り組み



● 第4回 常陽ビジネスアワード



地域の経済活性化につながる成長分野等における革新的・創造的な新事業プランを募集・表彰する「常陽ビジネスアワード」を継続して開催しています。

今回は、最優秀賞(「地方創生部門」)を加えたほか、株式会社日立製作所様の協力のもと、「日立製作所賞」を新設し、261件の応募プランから17プランを表彰しました。受賞プランをはじめとする優れた事業プランに対し、常陽銀行グループが事業化に向けたさまざまなサポートを行います。

● 常陽未来協創塾

次世代を担う若手経営者や後継者の育成を目的として「常陽未来協創塾」を開講しています。当塾は、企業経営に必要なノウハウの習得や人脈形成の場としてご活用いただいています。

平成27年10月に第1期が開講し、経営戦略や企業価値などをテーマにした勉強会や産業技術の視察会、異業種交流会を実施しました。平成28年10月からは第2期生として30名の方が受講しています。



● 「自然災害時返済一部免除特約付住宅ローン」の取り扱い開始



異常気象による自然災害が多く発生しており、被災時の負担軽減および住宅における「安心、安全」を提供するため、平成28年9月に、地方銀行では初の「自然災害時返済一部免除特約付住宅ローン」の取り扱いを開始しました。

本商品は、本年3月25日に当行、茨城県、一般社団法人移住・住みかえ支援機構(JTI)の三社連携による「茨城県への移住促進に関する連携協定」にもとづくものです。



● 「創業者懇談会」の開催



平成28年10月、創業者支援を目的とした「創業者懇談会」を昨年に引き続き開催しました。創業者と事業経験豊富な経営者が交流できる場を提供し、創業者に対する的確なアドバイスを行うことにより地域の創業企業の発展を後押しするという取り組みです。

本会には栃木県内有力企業経営者の経済団体である栃木県産業協議会(設立:昭和56年)の会員が参加し、創業者(6社)による事業内容や経営課題等の発表後、先輩経営者からの事業内容に対する質問や自己の経験を踏まえたアドバイスなど、活発な意見交換が行われました。

● インターネット専用支店「パスカル支店」の開設

平成28年8月、インターネット専用支店として「パスカル支店」を開設しました。「パスカル支店」では、スマートフォンやパソコンを通じたお取引により、窓口にご来店いただくことなく預金口座の開設が可能となるほか、さまざまなサービスを24時間365日ご利用いただくことができます。



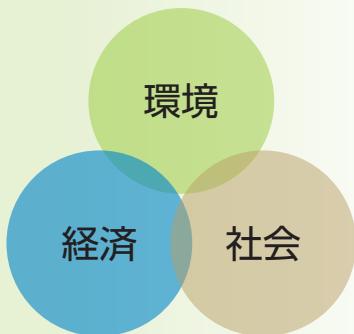
● 地方公共団体との連携協定



平成28年9月、栃木県との「移住・定住の促進に関する協定」を締結しました。この協定にもとづく新商品「住みかえ支援ローン」の取り扱いや各種金利優遇プランの拡充を開始したほか、栃木県への移住定住を希望する方に対し、住宅や起業・創業等に係る金融に関する電話相談窓口として、足利銀行地域振興部内に「あしぎん移住定住相談デスク」を設置しました。

また、5月には小山市と産業・観光に関する振興および定住促進等について「包括連携に関する協定」を締結し、6月には下野市と商工振興、都市機能の整備・集積関連、定住促進等、地域の活性化に関して「地方創生の推進に関する協定」を締結しました。

3つの重点課題



活気に満ちた地域づくりや企業活動を助成する取り組み

株主の皆様へ

配当政策

新グループとしての成長に向けた資本の確保と株主への適切な利益還元バランスを考慮し、安定配当を目指します。

なお、平成28年度期末配当は新グループ設立記念配当1円を加え、6.5円とする方針です。

株主優待

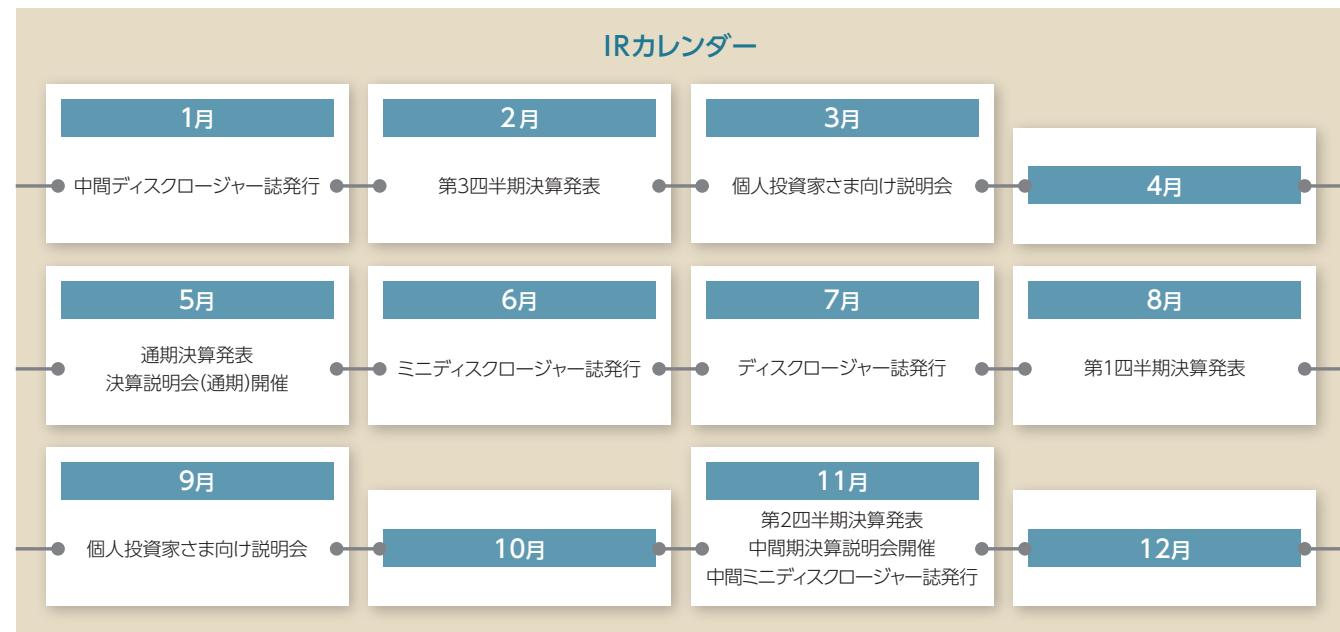
お客さま・地域の復興と成長に貢献するとともに、「地元特産品」「観光」を贈呈対象商品とすることで、新グループが目指す地域経済の活性化による成果を株主に還元することを目的に実施します。

平成28年度

中間配当(注)		期末配当
常陽銀行	6円00銭	めぶきフィナンシャルグループ 6円50銭
足利ホールディングス	5円50銭	(平成28年度期末配当には記念配当1円を含みます。)

(注)平成28年度の中間配当は、足利ホールディングス、常陽銀行のそれぞれが平成28年9月末時点の株主に対しそれぞれ実施します。

保有株式数	特産品の金額目安
1,000株以上5,000株未満	2,500円相当
5,000株以上10,000株未満	4,000円相当
10,000株以上	6,000円相当



■めぶきフィナンシャルグループ

資本金の状況 (平成28年10月1日現在)

資本金	1,174 (億円)
-----	------------

株式の状況 (平成28年10月1日現在)

株式数	発行可能株式総数	発行済株式の総数
	3,000,000 (千株)	1,179,055 (千株)

株主数	35,633 (名)
-----	------------

大株主の状況 (平成28年10月1日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
野村フィナンシャル・パートナーズ株式会社	122,900	10.42
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	46,118	3.91
オリックス株式会社	40,000	3.39
日本生命保険相互会社	34,487	2.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	34,289	2.90
株式会社三菱東京UFJ銀行	33,920	2.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	25,629	2.17
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	22,803	1.93
住友生命保険相互会社	21,659	1.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	21,192	1.79

(ご参考)

■常陽銀行 (普通株式)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社めぶきフィナンシャルグループ	722,910	100.00

■足利銀行 (普通株式)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社めぶきフィナンシャルグループ	1,340,520	100.00

(注)1.持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
2.持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

■めぶきフィナンシャルグループ

株式の概要

証券コード	7167(東京証券取引所 市場第1部)
一単元の株式数	100株(証券市場での売買単位) ※常陽銀行株式の単元株式数は1,000株でしたが、めぶきフィナンシャルグループ株式の単元株式数は100株となりました。
定時株主総会	毎年6月に開催します。
配当金のお支払	期末配当及び中間配当を行う場合は取締役会の決議により配当金基準日の株主様にお支払いいたします。
基準日	定時株主総会:毎年3月31日 期末配当:毎年3月31日 中間配当:毎年9月30日
公告方法	電子公告といたします。 電子公告掲載URL: http://www.mebuki-fg.co.jp/ ただし、事故やその他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、茨城新聞及び下野新聞並びに日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
株式事務取扱場所	【郵送物送付先・お問い合わせ先】 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎0120-232-711 (ホームページアドレス) http://www.tr.mufg.jp/daikou/

株式に関する各種手続き

	証券会社等の口座で株式を管理されている株主さま	特別口座で株式を管理されている株主さま、もしくは管理先が不明の株主さま
単元未満株式の買取・買増請求		
各種手続き(住所変更、配当金受取方法の変更等)	お取引のある証券会社等に直接お問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711

